

# 合志市議会への請願

# 6件

# 審議結果はどうなった

## 請願4号

医師・看護師の増員と国立病院の廃止・縮小に反対し、存続・拡充を求める請願

### 請願者

全日本国立医療労働組合  
菊池支部長 緒方 敏雄  
再春荘支部長 廣田美栄子

### 請願趣旨

政府は2007年中に、全ての独立行政法人を廃止・民営化・民間委託の対象として全面的に見直し、「整理合理化計画」を策定するとしております。また、安全・安心の医療体制確立と急速に複雑・高度化する医療内容に対応する為にも、医師・看護師を増員することが求められています。政府におかれましては、国立病院の廃止・民営化ではなく、いつでもどこでもだれでも安心して医療を受けられるよう、憲法第25条に基づいて設置された国立病院が地域医療においてもしっかりと役割を果たしていきけるようにすること、地域における保健・医療・福祉を担う医師・看護師等の確保対策の拡充を早急に行うよう要望するものです。

記

1 国立病院の廃止・縮小「合理化」に反対し、国民の医療要求にこたえて地域医療を充実すること。



熊本再春荘病院

## 請願7号

悪質商法被害を助長するクレジットの被害を防止するための割賦販売法の抜本的改正に関する請願

### 請願者

熊本県青年司法書士会  
会長 今井 一洋

## 請願3号

熊本県内における遺伝子組み換えナタネの自生・交雑の防止に関する請願

### 請願者

グリーンコープ生活協働組合  
くまもと県央東地域本部  
ひまわり地区委員長 池田真由美

## 請願6号

合志市の自給率堅持と環境保全を目的とした農業者育成および農地保全に関する請願

### 請願者

合志市認定農業者協議会  
木永 健治  
宮本 博  
坂本 耕三

## 請願2号

公的年金改善に関する請願

### 請願者

全日本年金者組合菊鹿支部  
支部長 鍋島 隆輔

### 請願趣旨

高齢化社会に向かって公的年金制度の充実が、国民の切実な要求となっております。従って、すべての国民に老後の生活を保障する年金制度を作るため、次のことを実現できるように、政府の關係省庁、地方6団体に意見書を提出していただくよう要請します。

記

- 1 できるだけ早く、全額国庫負担の最低保障年金制度を創設し、無年金者や低額の年金者を無くして、すべての国民が安心して暮らせる年金制度を確立すること。
- 2 基礎年金の国庫負担割合を直ちに3分の1から2分の1に増額し、全額国庫負担をめざすこと。
- 3 年金財政の巨額な積立金を計画的に活用し、保険料・掛金の引き上げ、支給額切り下げの年金法の実施を中止し、物価スライドによる年金額の切り下げを元に戻すこと。
- 4 年金受給者の生活を破壊する高齢者控除の廃止と公的年金等控除の縮小をやめて元にもどすこと。

不採択

- 2 結核、重症心身障害児者、筋ジストロフィー・神経難病、精神をはじめとする政策医療ネットワークを充実・強化させるため、国立病院機構の運営費交付金を増額すること。
- 3 医師・看護師をはじめとする医療従事者の増員を行い、安全安心の医療を確立すること。
- 4 中期目標、中期計画終了時に国立病院機構を非特定独立行政法人化しないこと。

採択

## 反対討論

全額国庫負担をめざすところありますが、税源をどこからもってくるのか理解できません。また、この財源難にそつうことは考えられません。

## 賛成討論

憲法25条に明記されている「国民の生存権」の保障という見地に立った年金制度を実現することは急務です。高齢者の思いを代弁し、すべての国民に老後の生活を保障する年金制度をつくるよう求めている請願の趣旨に賛成。

## 請願5号

後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願

### 請願者

後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める市民の会  
代表（医師） 原田 三郎  
代表代行 山本 隆憲

## 趣意書

政府は08年度4月から、75歳以上の高齢者を対象に「後期高齢者医療制度」を創設するとともに、70〜74歳の窓口負担を2割に引き上げようとしています。新しい制度は、もっぱら医療費削減

## 反対討論

国の社会保障給付費は、国民所得に占める割合が25%に達しております。医療は国民において、一定のサービスが必要であり、この制度は住民が安心して医療を受けられるためのものであり、財政運営上応分の負担はやむをえないし、法的にも決定され来年4月にスタートめざし、県全体の広域連合で準備が進められておりますので反対します。

不採択

## 賛成討論

高齢者への際限のない負担増と差別医療を押しつける最悪の制度である後期高齢者医療制度は中止撤回し、長年の社会貢献にふさわしく、国と企業が財政負担し支払える範囲で十分医療が受けられるようにするよう求めている請願の趣旨に賛成します。